

芸術家と子どもたち ワークショップ

11月9日、NPO法人「芸術家と子どもたち」のワークショップを、ダンサー兼振付師のアーティストの方を迎えて行いました。初めに、コンテンポラリーダンスを見せてもらうと、みんな食い入るように見つめていました。「手や足や頭。体全部を使って自分の名前をひらがなで書いてみよう！」という活動に、はりきって取り組んでいました。緊張していた気持ちがだんだんとほぐれてきて、にこにこ顔になり、ひとりひとり違った、いろいろな動きが出てきました。

教室では「紙をつかった」活動に挑戦！ 2人組になり、紙の音や動きに合わせて、体を動かすと素敵なダンスが生まれました。「ダンス」と聞くと難しく感じてしまいましたが、自由に体を動かしていくと、だんだん笑顔も増え、楽しそうに踊る姿が見られました。振り返りシートには、「ダンスがカッコよかった！」「体を動かすのが楽しかった。」「友達とやっておもしろかった！」などの感想がたくさん書かれていました。ワークショップはあと3回続きます。最終回は、他校との交流も計画しています。

